

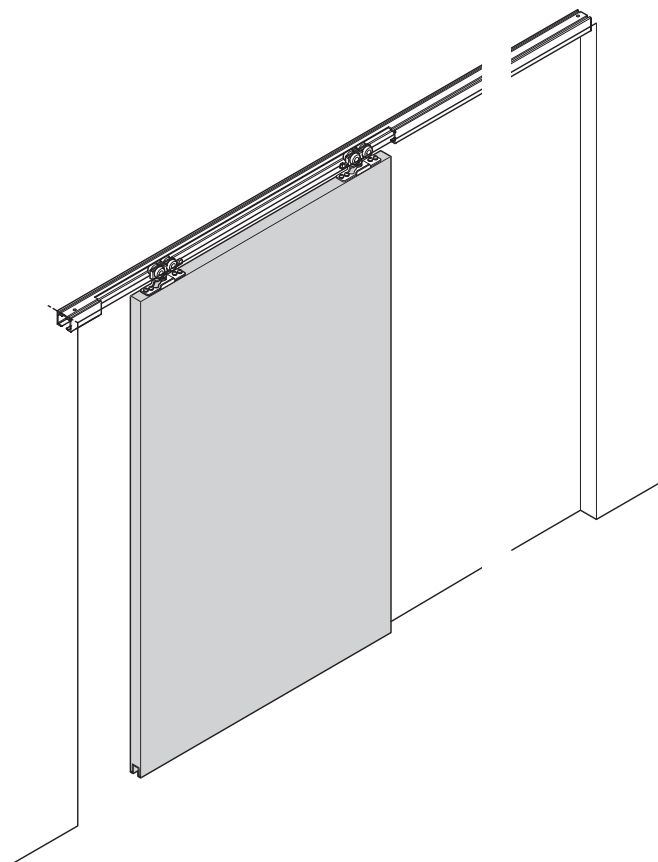
このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工作业前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

## 本製品について

- 重量扉用の引戸金物です。
- 工具を使わずに扉を吊り込むことができます。

## 仕様

扉高さ	2500 mm 以下	2501 ~ 2700 mm
扉幅	784 ~ 1500 mm	850 ~ 1500 mm
扉厚	30mm 以上	
扉質量 (1枚当り)	80kg 以下	
扉上下調整範囲	上方向に 4mm、下方向に 4mm	



## 安全にお使いいただくために

### 図記号の意味



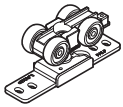
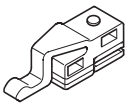
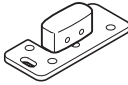
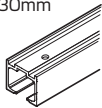
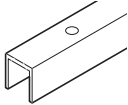

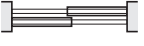

### ⚠️ 警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

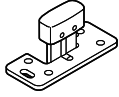

- ❗ 本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

### ⚠️ 注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❗ 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認いただくとともに、使用者へ建具を安全に使用するための注意喚起してください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください (お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください)。
- ❗ 戸袋壁はメンテナンスの為、片側を取り外し可能な構造にしてください
- ❗ 取付作業は2人で行ってください(一人の場合、部材を損傷してしまうおそれがあります)。

# 部品一覧

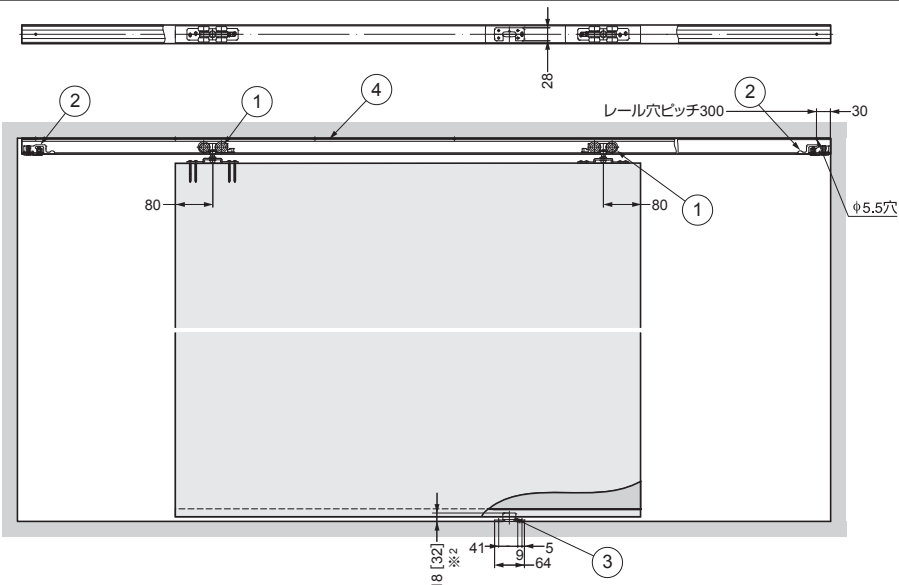
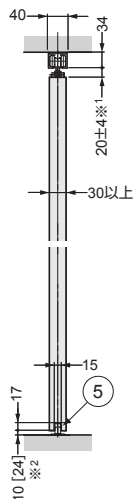
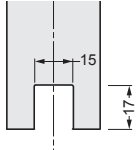
No.	①	②	③	④	⑤
品名	上ローラー (面付用)	上ストッパー	下ガイドS	上レール	扉下側埋め込みガイドレール
品番	FD80-WRM	FD80-HTST	FD50-BG18	FD80-TRM 型	FD30-HBRT1500SIL
部品	 付属:十字穴付なベタッピン ねじ4×45 ……4ヶ		 付属:十字穴付バインドタッピン ねじ4×16 ……5ヶ	2000mm～3640mm 穴ピッチ : 300mm ピッチエンド : 30mm  付属:十字穴付なベタッピン ねじ5×40 ……穴数分	1500mm 穴ピッチ : 250mm ピッチエンド : 30mm 
片引き	 2ヶ	2ヶ	1ヶ	1本	1本
引き違い	 4ヶ	4ヶ	2ヶ	2本	2本
引分け	 4ヶ	4ヶ	2ヶ	1本	2本

オプション	No.	⑥	⑦
	品名	下ガイドL	スパナ
品番	FD50-BG32	FD30-FSP	
部品	通常より扉の下にスペースを設けたい場合に使用  付属:十字穴付バインドタッピン ねじ4×16 ……5ヶ	 呼び 10, 12	

# 寸法図

**!** 扉を建枠に当てない仕様では、必ずデュアルソフトクローザー仕様を使用してください。

扉の加工寸法



※<sup>1</sup> 上レールと扉のすき間は±4mmの間で調整可能です。  
 ※<sup>2</sup> [ ]寸法はオプションの下ガイドL⑥を使う場合の寸法です。

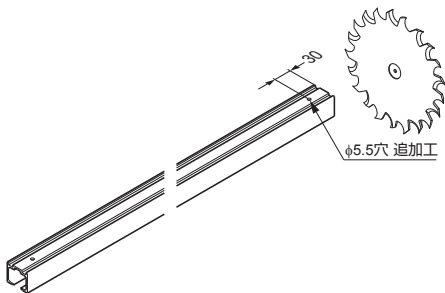
# 施工手順

本書では、扉片引き仕様を例に説明しています。

## 1 取付前の準備、取付け

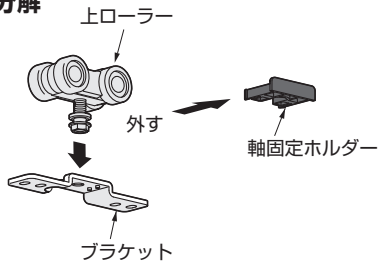
### 1. 上レールの切断・穴加工

- ① 上レールが変形しないよう、補強材などをに入れて切断してください。
- ② 上レール内のごみやアルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。

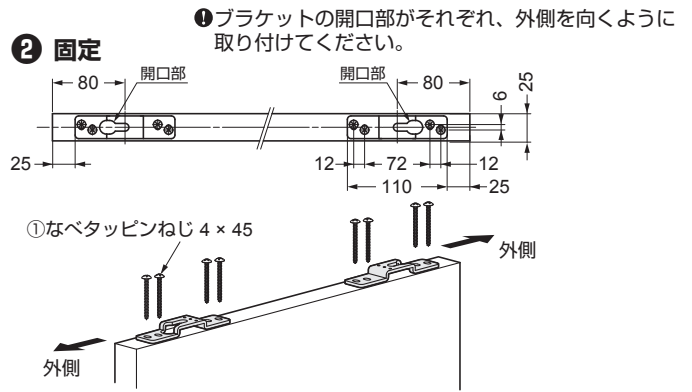


## 2. ブラケットの取付け

### ① 分解

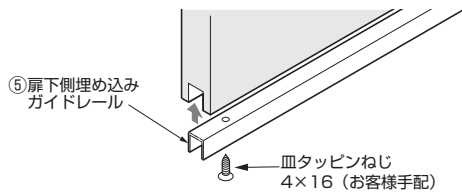


### ② 固定



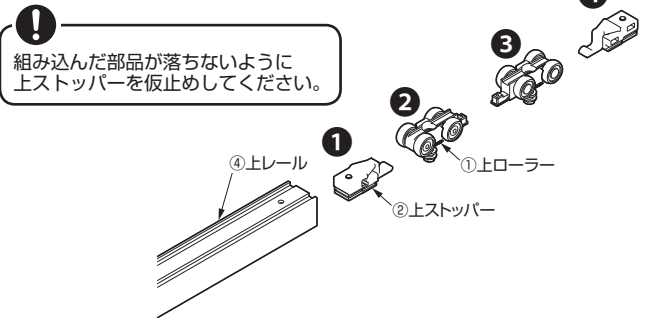
## 3. 扉下側埋め込みガイドレールの取付け

- (1) 扉下側埋め込みガイドレールを扉幅と同じ長さに切断する。  
① レールが変形しないよう、補強材などを入れて切断してください。
- (2) 皿タッピンねじ 4×16(お客様手配)で取り付ける。



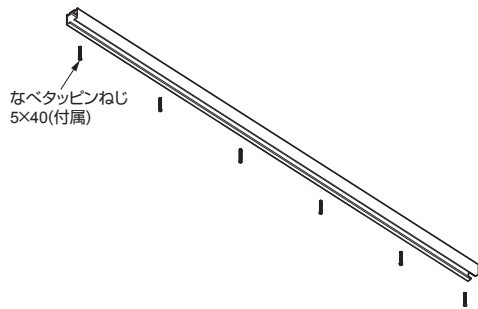
## 4. 部品の組み込み

各部品の向きに注意し、①～④の順に組み込む。



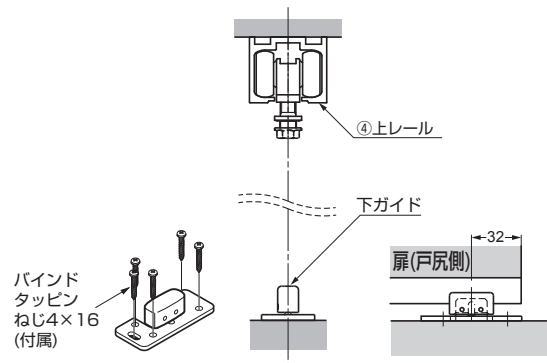
## 5. 上レールの取付け

- ① 上レール内のごみや、アルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。



## 6. 下ガイドの取付け

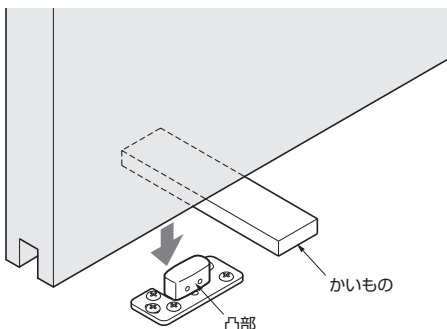
上レールの真下に、下ガイドの中心を合わせる。  
扉を閉じた状態で、下ガイドの凸部が扉から外れない位置となるよう調整し、固定する。



## 2 扉の吊り込み、調整

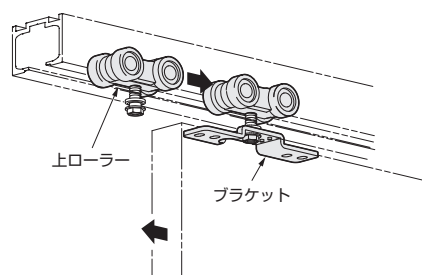
### 1. 扉の吊り込み (扉下部)

扉の下に10mmのかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。



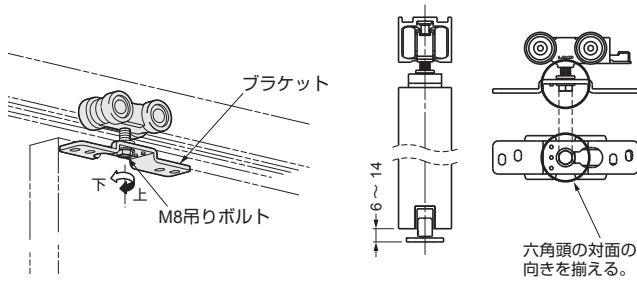
### 2. 扉の吊り込み (扉上部)

上ローラーを、扉に付いたブラケットへ横から差し込む。



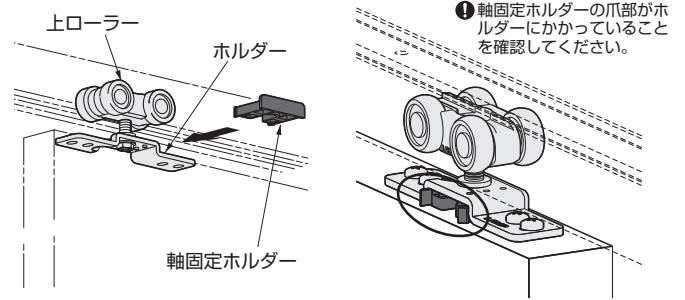
### 3.扉の高さ調整

- (1) 扉の下から10mmのかいものを外す。
- (2) 扉が上レールと平行で、扉と床のすき間が6~14 mmになるように調整する。
- (3) M8吊ボルト六角頭の対面の向きが、向かってまっすぐ、平行になるように揃える。



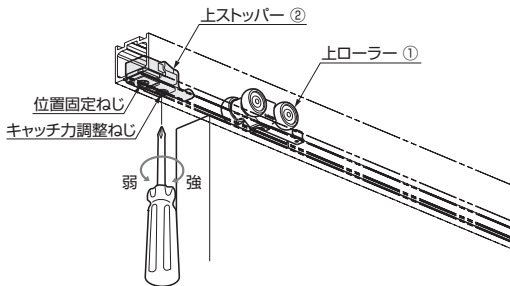
### 4.軸固定ホルダーの取付け

- ・上ローラーのM8吊ボルトの六角頭対面の向きが、揃った状態で、軸固定ホルダーをブラケット中央開口部に最後まで確実に差し込み、扉と上ローラーを固定する。



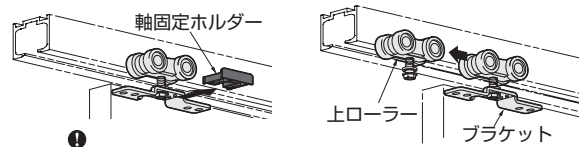
### 5.上ストッパーの固定と調整

- (1) 扉の閉止位置（扉が枠に当たる位置）で固定する。  
レール内の上ローラーが上ストッパーに当たるように上ストッパーの位置を調整し、位置固定ねじを十字ねじ回し2番で固定する。
- (2) 上ストッパーのキャッチ力調整ねじを十字ねじ回し2番で回し、適切な扉のキャッチ力に調整する。
- (3) 扉の開位置においても、同様に上ストッパーの位置固定とキャッチ力の調整する。



### ■扉の外し方

- (1) 扉の下に10 mmのかいものをはさむ。
- (2) 軸固定ホルダーを外す。
- (3) 上ローラーを扉に付いたブラケットから外す。



- (4) 下ガイドから扉を外す。  
⚠ 扉を倒さないよう注意してください。

**取付後の確認**    ねじの締め忘れ、取付け忘れのないことを確認してください。

#### 定期点検

- ・レール内の掃除をおこなってください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をおこなってください。

## 困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉の開閉時に異音が発生する	床面に扉下面が擦っていませんか。	レールを取付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さを調整し、床面と扉下面とのすき間が6~14 mmになるように調整してください。
	レール部のローラーにごみやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	一旦レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。
扉の開閉が重い	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
	床面に扉下面が擦っていませんか。	レールを取付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さを調整し、床面と扉下面とのすき間が6~14 mmになるように調整してください。
扉が開閉しない 勝手に扉が開閉してしまう	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して水平になるように、上レールを付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

電話番号 **03 (3864) 1122**

受付時間 **月~金 9:00~17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX **03 (3863) 6875**

E-mail: [support@sugatsune.co.jp](mailto:support@sugatsune.co.jp)

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

**SUGATSUNE** スガツネ工業  
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録  
※ISO9001: 物流 WEST を除く、国内拠点 ※ISO14001: 千葉工場および物流センター (SBC)  
<http://www.sugatsune.co.jp/> 2018.11 0557-4